

< 空の安全・安心を！ 整理解雇 4 要件を守れ！ >

京都のつばさ 街頭宣伝用ニュース 第 22 号 2013. 6. 18

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラポール 5F 京都総評気付 TEL075-801-2308 (第 24 定例宣伝)



稲盛名誉会長は JAL 原告団の解雇を撤回せよ  
稲盛哲学で空の安全を脅かさないで！



私たちは一昨々年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 142 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。

We are 142 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve 3 years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal. (We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 2010 年 12 月 31 日, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 142 명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

事故原因究明なしの運行再開！・金儲け主義＝稲盛哲学に起因

命を運ぶ空の仕事の市民への紹介は大好評！ 5.19 ユニオンアップ

原因究明も対策も講じないまま、ボーイング 787 の運行再開。すべて JAL 稲盛名誉会長(京セラ創業者)の「もうけなくして安全なし」の「稲盛哲学」が原因している。「京セラのように内部留保金を 1 兆円にしてからものを言え」という稲盛名誉会長のイエスマンのみを役員に行っている JAL の営業。空の危機は深まるばかり。6 月 10 日も、12 日もエンジン不具合で欠航に。JAL の悪習が ANA へも伝染。

一方本年 5 月 19 日、京都市内でベテラン客室乗務員やパイロットの命を運ぶ空の仕事の市民への紹介と労働組合の役割を伝える催し物「ユニオンアップ 2013」が開催され、JAL 原告団 7 名が登場。「一日も早くこういうベテラン CA やパイロットにあの空に帰ってもらい、空の安全をとり戻してほしい」と市民の声がたくさん寄せられた。すてきな CA 原告団と記念写真。この日応援団は倍増した。

< 2013.6.4 朝日新聞「声」欄 >

2000 人の市民集めたユニオンアップ 2013

バス乗務員 長縄 修二  
(東京都国分寺市 66)

ボーイング 787 型機が 5 月 26 日、4 カ月ぶりに日本での営業運転を再開しましたが、バッテリートラブルの原因が特定されないままの運転再開に、不安を抱く利用者も多いようです。「見切り発車」の感否めなないと思ひます。

航空会社がバッテリーを改修し、国土交通省は安全と認めたとありますが、トラブルの原因が正確に特定され、十分な対策がなされからの再開でも決して遅くはないと思ひます。航空会社は、なぜそんなに運航を急ぐのでしょうか。

B787 なぜ運航再開急ぐのか

か。今後の無事故と乗員乗客の安全を、願わずにはいられません。考えてみると、この問題に限らず、原発再稼働や原発の輸出問題、あるいは環太平洋経済連携協定(TPP)への交渉参加や憲法改正問題など、いずれも論議が尽くされなかったり、対策が行われなかったりしたまま、先を急ぐとする案件が多く見受けられ、国民として不安が募ります。

物事にスピード感が必要です。何かと不安の多い世の中だからこそ拙速を避け、慎重に、確実に、地に足をつけた行動が求められるのではないかと思ひます。



全日空 787 型機、エンジン不具合見付き欠航

2013 年 6 月 12 日(水) 13:26

12 日朝、山口宇都空港(山口県宇都市)で、午前 8 時発羽田行き全日空ボーイング 787 型機に不具合が見つかり、欠航した。

搭乗していた乗客 141 人が、後続の便に乗り換えた。

全日空によると、出発前に駐機場で点検中、右側エンジンの不具合が見つかり、作動しなくなった。問題となったバッテリー関係のトラブルではないという。

787 型機は 10 日にも、福岡空港(福岡市)発羽田行き便で、エンジンの不具合を示す表示が出て欠航した。



(読売新聞)

YOMIURI ONLINE